



本市の観光課題

4

「2. 本市の基礎情報」や「3. 本市の観光の現状」、そして改訂に向けた検討組織である策定委員会・ワーキンググループでの意見等を踏まえ、本市の観光課題は、大きく以下の5つに整理しました。

課題

1

市民が地元を学び知る機会の提供

本市は豊かな地域資源を有し、市民自身が地元の魅力を知り、体験する機会もありますが、必ずしも十分ではありません。また、市民が観光に積極的に関わることができる機会や仕組みも十分ではありません。

市民が地元のよさを知り、まちの魅力を発揮していくことを観光の基礎にして、観光はまちづくりそのものであるという考え方を継承し、訪れる人へのホスピタリティある対応を今まで以上に進めていく必要があります。

課題

2

市内外に点在する資源の連携、滞在できる環境の充実

本市の自然資産及び歴史・文化資産は、多様で豊かなものであり、その魅力の発揮は市内で完結するものばかりではありません。市内外に点在する多様な資源を魅力あるストーリーとして組み上げ、付加価値の高いサービスとして提供することが必要です。

また、ゆっくり休んで時間を過ごせる滞在施設及び休憩や交流のための施設が不足しており、市民の利用も想定しながら、その充実を図る必要があります。



課題

3

事業者間の連携

本市に点在する地域資源やまちを活かすためには、観光に携わる関係者が定期的に情報共有や意見交換を行う場（プラットフォーム）が必要です。

また、多様な資源や様々な主体の活動を上手く結びつけて全体的なプロデュースを行い、新たな価値を生み出す視点やそのための人材の確保、育成等が必要です。

課題

4

観光が市民生活に資するための仕組み、対策

本市で発生している観光客の移動による交通渋滞への対応など、観光が地域に与える負の影響低減策が十分ではありません。道づくりや交通案内等、市民の暮らしと観光客の利便性の調和を図る都市基盤の整備も視野に入れて対策を講じる必要があります。

加えて、観光が「自らのまちの暮らしを豊かにする」という地域循環形成に向けて、観光対象となっている地域資源及び環境の保全に寄与する観光振興の仕組みを構築することが必要です。

課題

5

本市の価値・魅力を伝える場の設置、情報発信の強化

本市を特徴づける「目に見えない価値」（習慣・言語・食事・行事等市民の暮らしの中に息づいているため目の前にあっても気づいていない生活文化や生業、認知されているが背景等も含めて表現できていない地域資源等）の顕在化が十分ではなく、効果的な伝え方及び表現を引き続き検討していくことが必要です。また、観光客の視点や評価はそうした価値に対する市民の気づきにもつながることから、市民と観光客との交流を促進する場の設置及び適切な情報提供・発信力の強化が必要です。

初めて来訪する観光客も含めて、本市の価値及び魅力を伝え、体感してもらうためのガイド機能や、直感で伝え、関心を持ってもらうきっかけづくりのためのデザイン力の強化をソフト・ハード両面にわたり図っていく必要もあります。